

# タイトル『 かがみの子狐 城 』

著者：辻村 深月 出版社：ポプラ社

学校での居場所をなくした少女。

ある日、部屋の鏡が光りだし、くぐりぬけた先

には、城のような不思議な建物。

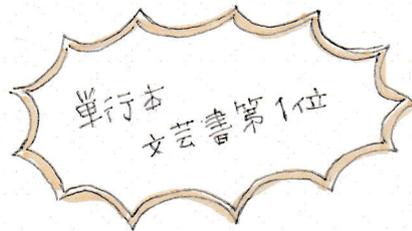
そこには自分の心と似た境遇のワルが集められていた――

途中にある謎、それすら計算されている。

思春期の子供達の心が丁寧に描かれていて

不登校の気持ちもバツバツと理解できます。

最後には必ずほころぶのが見えたさし。



投稿日 年 月 日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

さつまいも。

年齢

15

仙台市 太白図書館 YAコーナー